

平成二十年度

東北太平洋漁港ブロック協議会

青森市で開催

去る七月十日、東北太平洋漁港ブロック協議会が青森市のアラスカで開催され、青森、岩手、宮城、福島から関係者約一四〇名が参加した。

青森県漁港漁場協会逢坂会長の開会挨拶後、来賓挨拶が水産庁漁港漁場整備部橋本部長（淀江防災課長代読）、全国漁港漁場協会濱田専務より、又、歓迎の挨拶が青森県知事（青山副知事代読）より行われた。

協議会に入る前に、(株)セミナー青森 代表取締役 山下康博氏による「指揮官の決断 極限のリーダーシップ」と題した講演が行われた。

講演終了後に協議会が開催されたが、協議会は毎年、各県持ち回りで行われている。

水産資源の減少や漁船燃油の高騰、魚価の低迷、更に漁業就業者の減少や高齢化の進行等極めて厳しい状況にあることから、平成二十一年度の国の予算については、漁港漁場整備計画推進に必要な予算の確保を柱として、第六十回全国漁港漁場大会への提言を採択した。提言では、将来にわたって安全・安心な水産物を安定的に供給するため、増養殖場等生産の場の良好な水域環境の維持保全や、漁獲から陸揚げ、荷捌きの各段階における衛生管理に必要な施設整備、災害に強い防潮堤、耐震岸壁、防災広場等の整備、生産力の高い豊かな漁場づくりの整備推進等について要望することとした。